



玉井商船

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 展雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木原 豊 (TEL) 03-5439-0260
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,285	△12.3	△260	—	△302	—	△220	—
2019年3月期第2四半期	2,607	10.3	98	—	69	—	124	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △227百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 134百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△114.01	—
2019年3月期第2四半期	64.34	—

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,852	5,121	38.4
2019年3月期	12,090	5,427	43.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,939百万円 2019年3月期 5,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・2020年3月期期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△3.4	△90	—	△160	—	△60	—	△31.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,932,000株	2019年3月期	1,932,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,561株	2019年3月期	1,541株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,930,447株	2019年3月期2Q	1,930,557株

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、減速傾向にあるものの、継続的な発展が続きました。先進国については、米国と中国の貿易摩擦が世界経済に及ぼす影響や、EU圏諸国の政治、経済に対する不安、差し迫るBREXIT等の不安定要素が継続し、さらに米国経済に関しては少しペースダウンするものの、今後も順調な発展が続くものと予想され、全体として今後の米中貿易交渉が解決に向けて進展していく事に従い安定的な発展が期待されています。また新興市場国と開発途上国に関しては、昨年暮れから今年前半にかけて中国の経済は徐々に米国との貿易摩擦の影響が現れ悪化を招きましたが、政府の内需刺激策と、米国との貿易摩擦の当面の緩和による景気振興策が功を奏して、安定的な経済の発展状態に回帰しつつ有るものと考えられます。更に他の新興国のインド、ブラジル、ロシア、トルコなどが一時の不況から抜け出して更なる発展が期待されています。全体として現在は上記のような世界経済の停滞リスクと中東等の地政学的リスクによる足踏み状態が継続しているものと考えられます。

一方わが国の経済は、力強い内需の影響により、改善傾向にあります。世界的な保護主義化、米中貿易摩擦、自然災害による悪化懸念等による世界経済の将来に対する不安が影響して減速傾向にあります。

このような世界経済情勢下、外航ドライバルク船の海運市況は、2016年初頭に経験したボルチックインデックス史上始まって以来、最悪の状態から依然として回復途上にあり、上記の世界経済の将来への不安、地政学リスク、自然災害等による停滞状態に在るものと考えられ、今後時間の経過と共に現在予想される船舶竣工量と世界経済発展に伴う貿易量の拡大のバランス、更には、間近に迫った2020年1月1日から施行される船舶燃料油に含有される硫黄成分の上限規制に伴い発生する見込みの船舶需給バランスの改善等が、今後の海運市況の動向に影響を及ぼすものと思われれます。

以上のような状況下、当社グループの外航海運部門では、安全と顧客のサービスを第一に、市況リスクと運航リスク、さらには環境負荷の軽減に全社で努力を傾注すると共に、太平洋と大西洋を結ぶトランスオーシャン輸送に当社所有の船舶を集中的に配船し、安全かつ経済的、効率的な輸送につとめ、さらに新規カーゴの獲得に鋭意努力しておりますが、当四半期は継続する世界経済の減速に伴う海運市況の停滞、異常気象、粗悪油その他の運航リスク等の影響、燃料油の適合油への交換に伴う燃料タンクの清掃、準備、さらに自社船へのバラスト水排出規制適合装置の設置に伴う不稼働期間の長期化等により収支は悪化しました。

この結果、営業収益は2,285百万円（対前第2四半期連結累計期間比△321百万円、12.3%減）、営業損失は260百万円（前第2四半期連結累計期間98百万円の営業利益）、経常損失は302百万円（前第2四半期連結累計期間69百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は220百万円（前第2四半期連結累計期間124百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による北米からの輸入穀物、南米からの水酸化アルミ、中東からのジブサムや海外向けスラグの輸送を行い、運航採算の向上に努めると共に、一部支配船舶の短期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ、航海数は同じで為替相場もほぼ水準で推移したものの、運賃単価が下落した影響や短期貸船料が減少した結果、1,827百万円（対前第2四半期連結累計期間比△305百万円、14.3%減）となりました。営業利益面は、燃料油価格の高騰等で運航費や2019年5月に竣工した新造船に係る船費が増加した一方、外部からの借船料が減少した結果、営業費用全体では減少したものの、営業収益の減少の方が大きく、21百万円の営業損失（前第2四半期連結累計期間264百万円の営業利益）となりました。

・内航海運業

定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めると共に、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。また船員を他社へ融通し派遣業収入を得ました。

営業収益は、船員を他社へ派遣しその他海運業収益が増加した一方、ドライバルクでの航海数の減少などにより運賃の減少、所有船の入渠に伴うオフハイヤーの発生により貸船料が減少した結果、388百万円（対前第2四半期連結累計期間比△15百万円、3.8%減）となりました。営業利益面では、入渠に伴い船費（修繕費）の増加などがあり営業費用全体が増加した結果、32百万円の営業損失（前第2四半期連結累計期間13百万円の営業利益）となりました。

・不動産賃貸業

不動産賃貸業においては、営業収益は、68百万円（対前第2四半期連結累計期間比△0百万円、1.3%減）、営業利益は、25百万円（同△3百万円、12.6%減）となりました。

（注）営業利益は配賦不能営業費用（232百万円）控除前のものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ762百万円増加し、12,852百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより460百万円減少し、固定資産が主に有形固定資産の取得などにより1,222百万円増加したことによるものです。負債は7,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,068百万円の増加となりました。これは、流動負債が主に1年内返済予定の長期借入金、短期借入金の増加などにより972百万円増加し、固定負債が、繰延税金負債の増加などで95百万円増加したことによるものです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失220百万円や剰余金の配当77百万円などによる株主資本の減少297百万円、その他有価証券評価差額金の減少によるその他の包括利益累計額合計の減少11百万円などにより、前連結会計年度末に比べ306百万円減少し、5,121百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、営業活動の結果得られた資金118百万円、投資活動の結果使用した資金1,432百万円、財務活動の結果得られた資金840百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ480百万円減少し、374百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、118百万円（前第2四半期連結累計期間比339百万円の収入減）です。これは、税金等調整前四半期純損失213百万円が計上されているうえに、減価償却費465百万円などの非資金費用の調整などがあり、仕入債務の増加額78百万円、その他の資産の減少額64百万円などの増加項目に、固定資産売却益88百万円、たな卸資産の増加額80百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1,432百万円（前第2四半期連結累計期間比1,561百万円の支出増）です。これは、主に有形固定資産の取得による支出1,523百万円、有形固定資産の売却による収入91百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、840百万円です。（前第2四半期連結累計期間比1,406百万円の収入増）です。これは、主に長期借入れによる収入1,342百万円、長期借入金の返済による支出495百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降における業績見直しを行った結果、2019年8月6日付当社「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました2020年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「2020年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,010	374,863
海運業未収金	222,841	229,308
貯蔵品	259,398	339,443
その他流動資産	362,749	296,247
流動資産合計	1,700,000	1,239,864
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	7,574,864	9,818,419
建物（純額）	243,558	234,574
器具及び備品（純額）	4,689	8,724
土地	168,638	167,828
建設仮勘定	1,170,170	16,633
その他有形固定資産（純額）	9,528	11,463
有形固定資産合計	9,171,450	10,257,644
無形固定資産		
	2,466	2,271
投資その他の資産		
投資有価証券	616,544	602,767
退職給付に係る資産	56,810	56,128
繰延税金資産	435,193	586,184
その他長期資産	107,939	107,678
投資その他の資産合計	1,216,488	1,352,759
固定資産合計	10,390,406	11,612,675
資産合計	12,090,406	12,852,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	242,155	320,693
短期借入金	200,000	279,000
1年内返済予定の長期借入金	765,237	1,596,705
未払法人税等	35,027	67,911
前受金	535,957	459,693
賞与引当金	29,057	30,024
その他流動負債	75,892	101,910
流動負債合計	1,883,328	2,855,938
固定負債		
長期借入金	3,604,046	3,618,707
繰延税金負債	783,541	871,971
特別修繕引当金	180,732	170,298
退職給付に係る負債	48,243	51,186
長期末払金	38,700	38,700
資産除去債務	13,363	13,475
その他固定負債	110,687	110,655
固定負債合計	4,779,313	4,874,993
負債合計	6,662,642	7,730,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	282,304	282,304
利益剰余金	4,084,286	3,786,977
自己株式	△1,886	△1,902
株主資本合計	5,066,703	4,769,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,835	170,135
その他の包括利益累計額合計	181,835	170,135
非支配株主持分	179,224	182,092
純資産合計	5,427,764	5,121,607
負債純資産合計	12,090,406	12,852,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
海運業収益	2,537,659	2,216,644
海運業費用	2,257,508	2,265,080
海運業利益又は海運業損失(△)	280,151	△48,436
その他事業収益	69,384	68,467
その他事業費用	20,094	23,552
その他事業利益	49,289	44,915
営業総利益又は営業総損失(△)	329,441	△3,521
一般管理費	230,533	257,032
営業利益又は営業損失(△)	98,908	△260,553
営業外収益		
受取利息	363	358
受取配当金	10,574	10,945
為替差益	13,239	—
燃料油売却益	8,039	5,345
その他営業外収益	1,949	1,198
営業外収益合計	34,166	17,847
営業外費用		
支払利息	50,014	41,911
支払手数料	6,500	7,334
為替差損	—	7,869
その他営業外費用	7,230	2,352
営業外費用合計	63,745	59,467
経常利益又は経常損失(△)	69,328	△302,173
特別利益		
固定資産売却益	131,529	88,306
特別利益合計	131,529	88,306
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	200,858	△213,867
法人税、住民税及び事業税	23,752	62,383
法人税等調整額	49,372	△58,640
法人税等合計	73,124	3,743
四半期純利益又は四半期純損失(△)	127,733	△217,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,528	2,479
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	124,204	△220,090

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	127,733	△217,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,736	△9,857
その他の包括利益合計	6,736	△9,857
四半期包括利益	134,469	△227,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,017	△231,790
非支配株主に係る四半期包括利益	4,452	4,322

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	200,858	△213,867
減価償却費	467,145	465,766
賞与引当金の増減額(△は減少)	223	967
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,785	3,624
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△12,200	△10,434
受取利息及び受取配当金	△10,938	△11,303
支払利息	50,014	41,911
支払手数料	6,500	7,334
為替差損益(△は益)	△14,069	7,274
有形固定資産売却損益(△は益)	△131,529	△88,306
売上債権の増減額(△は増加)	△3,861	△6,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	△113,403	△80,045
その他の資産の増減額(△は増加)	41,815	64,112
仕入債務の増減額(△は減少)	97,719	78,538
前受金の増減額(△は減少)	△104,219	△76,263
その他の負債の増減額(△は減少)	19,057	△4,260
その他	△15	△275
小計	494,883	178,304
利息及び配当金の受取額	10,938	11,303
利息の支払額	△50,211	△42,313
法人税等の支払額	2,343	△28,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,954	118,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,087	△1,523,632
有形固定資産の売却による収入	136,857	91,266
無形固定資産の取得による支出	△1,950	—
貸付金の回収による収入	1,125	905
その他	2,156	△643
投資活動によるキャッシュ・フロー	129,102	△1,432,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,000	79,000
長期借入れによる収入	—	1,342,000
長期借入金の返済による支出	△545,146	△495,871
支払手数料	△6,500	△7,334
配当金の支払額	△4	△76,270
非支配株主への配当金の支払額	△1,253	△1,001
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,000	—
その他	△124	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△566,028	840,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,069	△7,274
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35,097	△480,147
現金及び現金同等物の期首残高	603,965	855,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	639,062	374,863

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,133,565	404,094	69,384	2,607,044	—	2,607,044
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,133,565	404,094	69,384	2,607,044	—	2,607,044
セグメント利益	264,698	13,183	29,728	307,610	△208,702	98,908

(注) 1 セグメント利益の調整額△208,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,827,908	388,735	68,467	2,285,112	—	2,285,112
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,827,908	388,735	68,467	2,285,112	—	2,285,112
セグメント利益又は損失 (△)	△21,052	△32,621	25,991	△27,681	△232,871	△260,553

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△232,871千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。